

TOMOWEL

共にある、未来へ

2022年3月期 決算説明資料

2022年5月13日

共同印刷株式会社

(証券コード：7914)

1. 2022年3月期 業績概要	2
2. 営業損益の増減分析	3
3. セグメント別の業績	4
4. 中期経営計画について	9
5. 2023年3月期 通期業績予想	11
6. 株主還元について	12
7. 参考情報	14

設備投資・減価償却費 / 貸借対照表 / キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

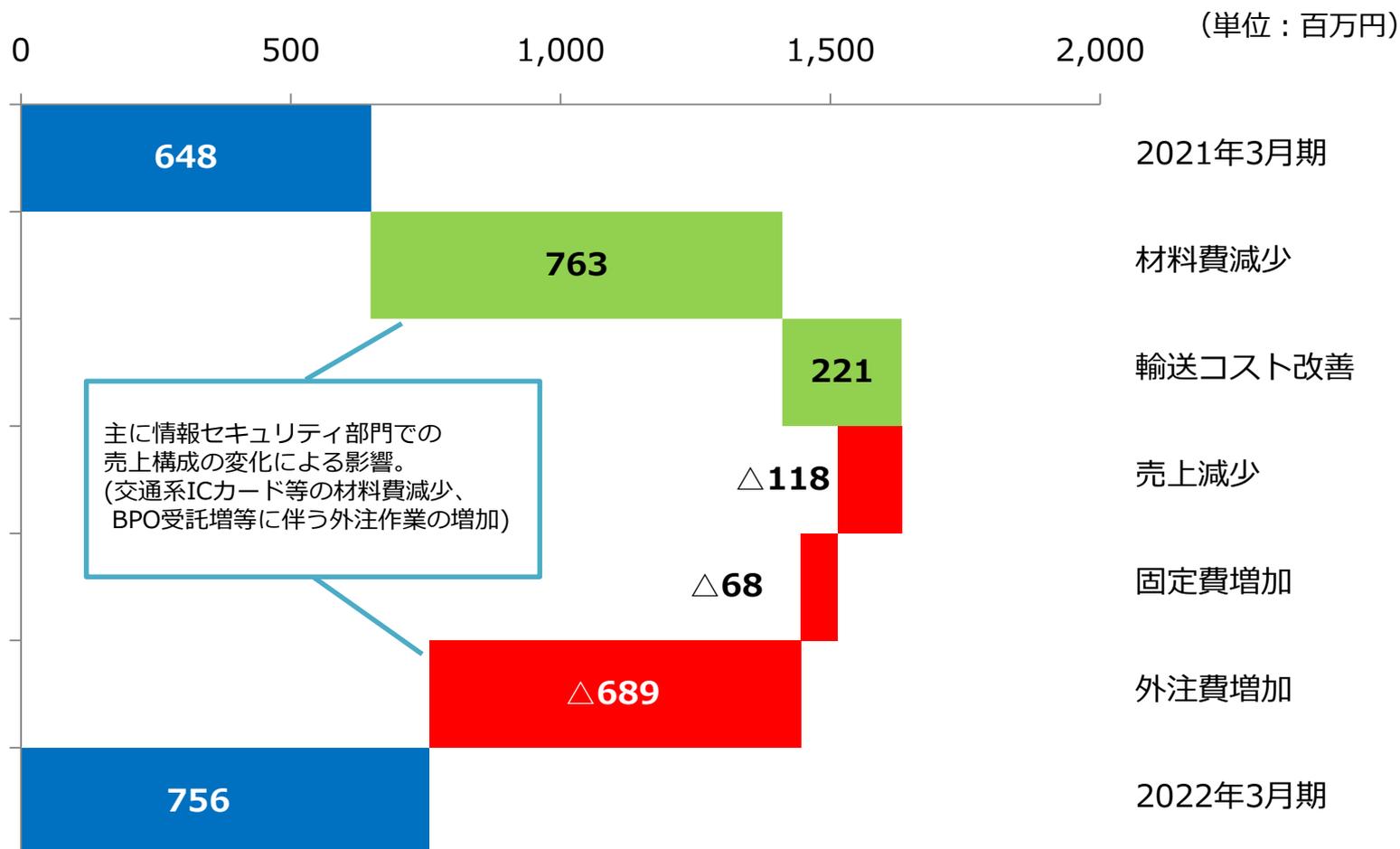
	2021年3月期	2022年3月期	前期比
売上高	91,031	88,416	△2.9%
		(90,764)	(△0.3%)
営業利益	648	756	+16.8%
経常利益	1,345	1,298	△3.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	825	683	△17.1%
ROE (%)	1.3	1.1	△0.2p

注：2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。
2022年3月期の業績は、当該会計基準等を適用した後の金額（売上高カッコ内は適用前の金額）です。

交通系ICカードの需要回復が遅れ減収も、営業利益は増益に

- ①売上高については、書籍やロジスティクス関連業務、データプリントを含むBPO、食品向け包装材等が増加し、チューブも堅調に推移したが、交通系ICカードの需要回復遅れが影響し、減収となった。
- ②営業利益については、原材料費高騰の影響等はあったものの、生活・産業資材系部門の売上増加および、情報セキュリティ部門の利益率改善もあり、前期を上回った。

営業損益の増減分析



セグメント別の業績

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	前期比
売上高 ※1	91,031	88,416	△2.9%
情報コミュニケーション	35,484	33,427	△5.8%
情報セキュリティ	26,032	25,187	△3.2%
生活・産業資材	27,076	28,002	+3.4%
その他	2,437	1,797	△26.2%
営業利益	648	756	+16.8%
情報コミュニケーション	92	△186	—
情報セキュリティ	612	648	+5.9%
生活・産業資材	△117	123	—
その他	189	15	△92.1%
調整額 ※2	△129	156	—
経常利益	1,345	1,298	△3.6%

注：2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用しております。
2022年3月期の業績は、当該会計基準等を適用した後の金額です。

※1 セグメント別売上高は外部顧客に対するものです。 ※2 「調整額」は全社費用等です。

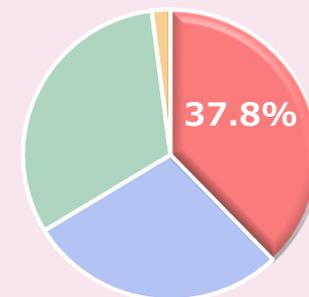
セグメント別の業績【情報コミュニケーション】

売上高 : 出版印刷では、雑誌が定期刊行物を中心に減少したものの、教育系書籍やコンテンツ関連は増加。
商業印刷では、カタログが廃止等の影響もあり減少したが、ロジスティクス関連業務は増加。

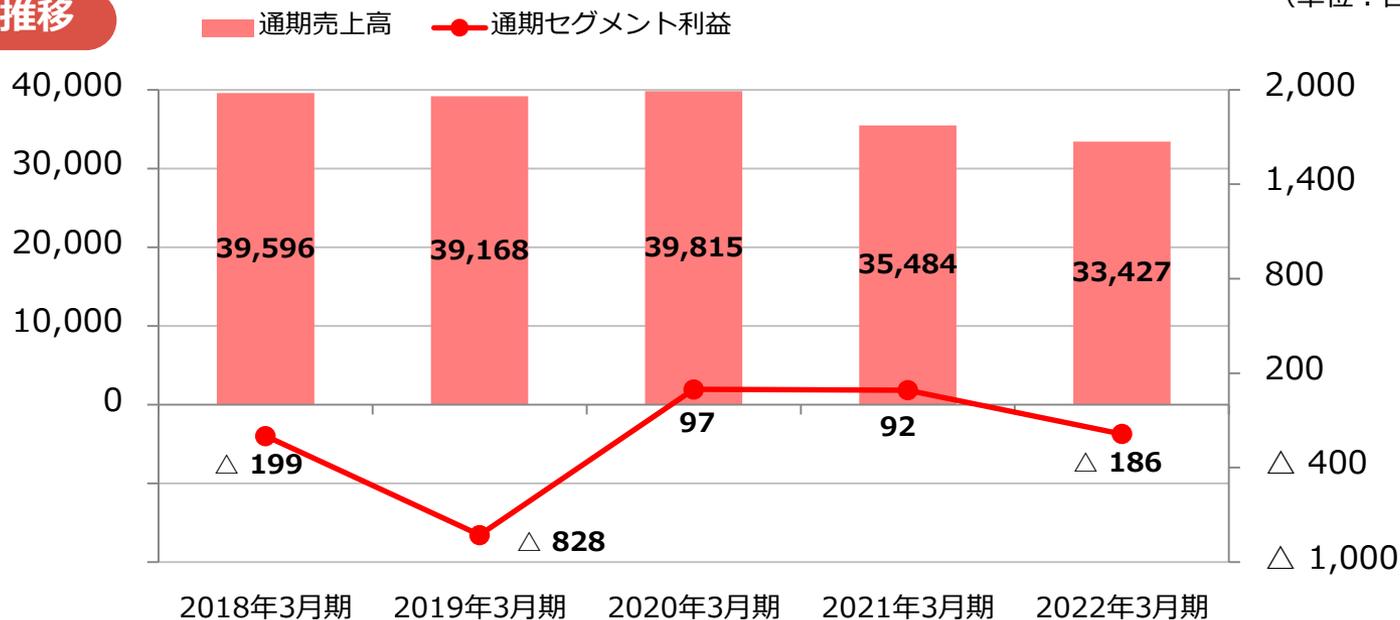
※全体では前期を下回ったが、「収益認識に関する会計基準」等の適用による減少が約22億円（主に電子書籍）あるため、実質的にはほぼ前期並み。

営業利益 : 作業拠点の集約に伴う一時的な外注費の増加等により、利益は前期を下回り。

売上構成比



5年間の推移

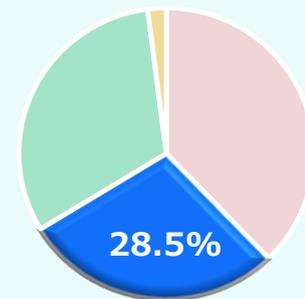


セグメント別の業績【情報セキュリティ】

売上高 : BPOやデータプリントは自治体等を中心に堅調、証券類もほぼ横ばいで推移した。
カードも金融系は順調に推移するも交通系ICカードの需要回復遅れが影響し、全体では減収となった。

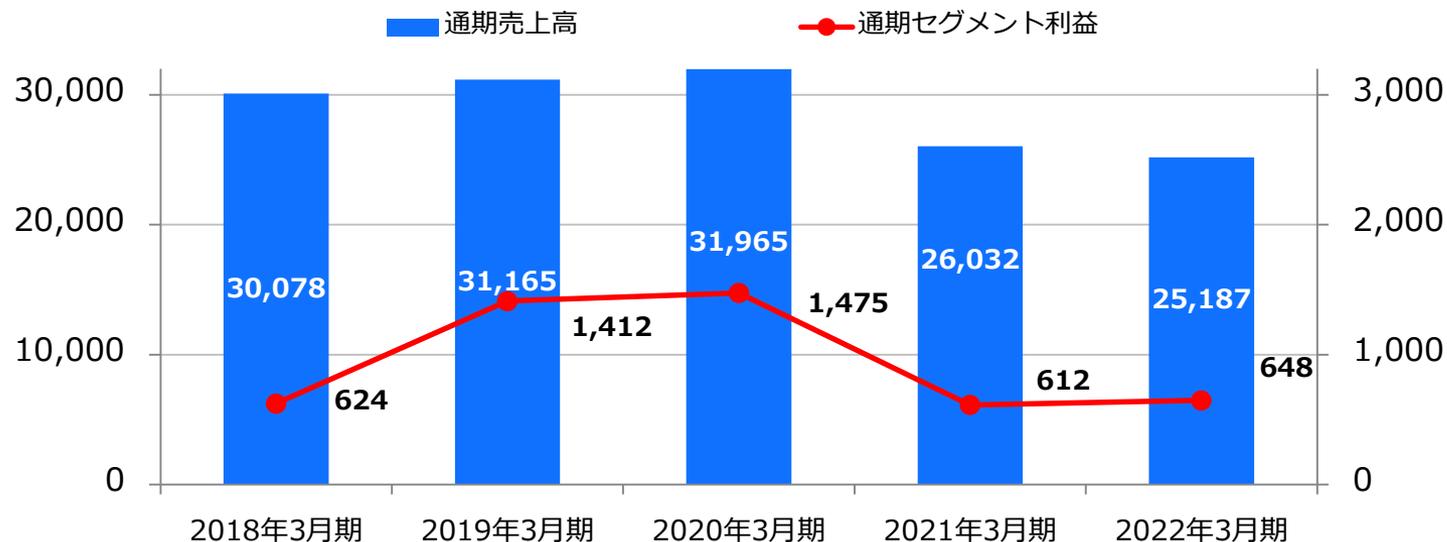
営業利益 : 売上製品割合の変化のほか、多能工化をベースとしたフレキシブルな人員配置による固定費の圧縮等もあり、利益は前期並みを確保。

売上構成比



5年間の推移

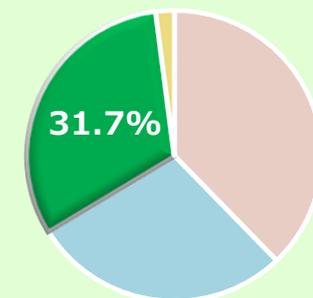
(単位：百万円)



売上高 : 紙器は中食向け包材が増加したが、日用品向け包材が減少した。
軟包装は液体向け包材や、即席麺向けの包材・フタ材が増加。
チューブは調味料向けが増加、歯磨き向けも堅調に推移した。

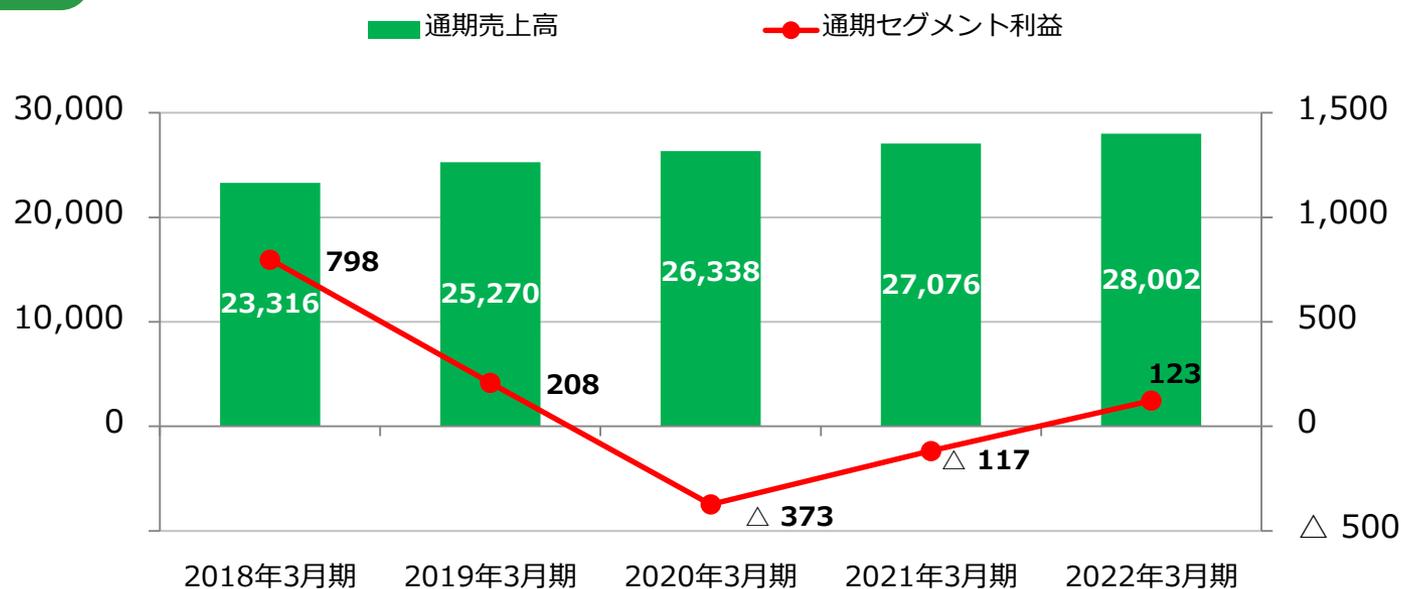
営業利益 : 原材料費高騰の影響を受けたが、売上高が前年を上回り、
黒字転換となった。

売上構成比

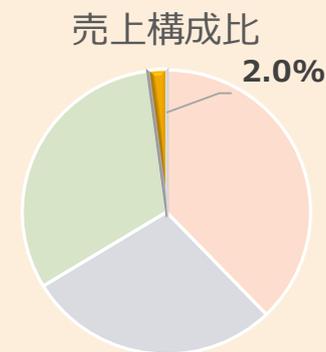


5年間の推移

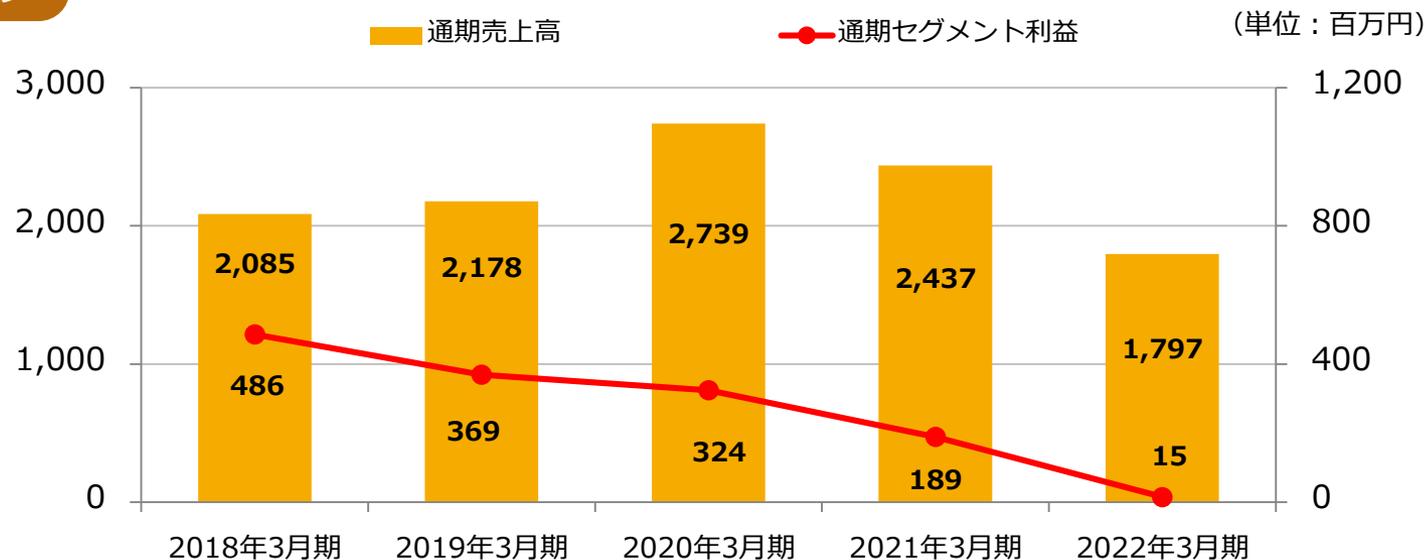
(単位：百万円)



- ・偽造防止製品等の受注減および、物流子会社の収益悪化により、減収減益となった。



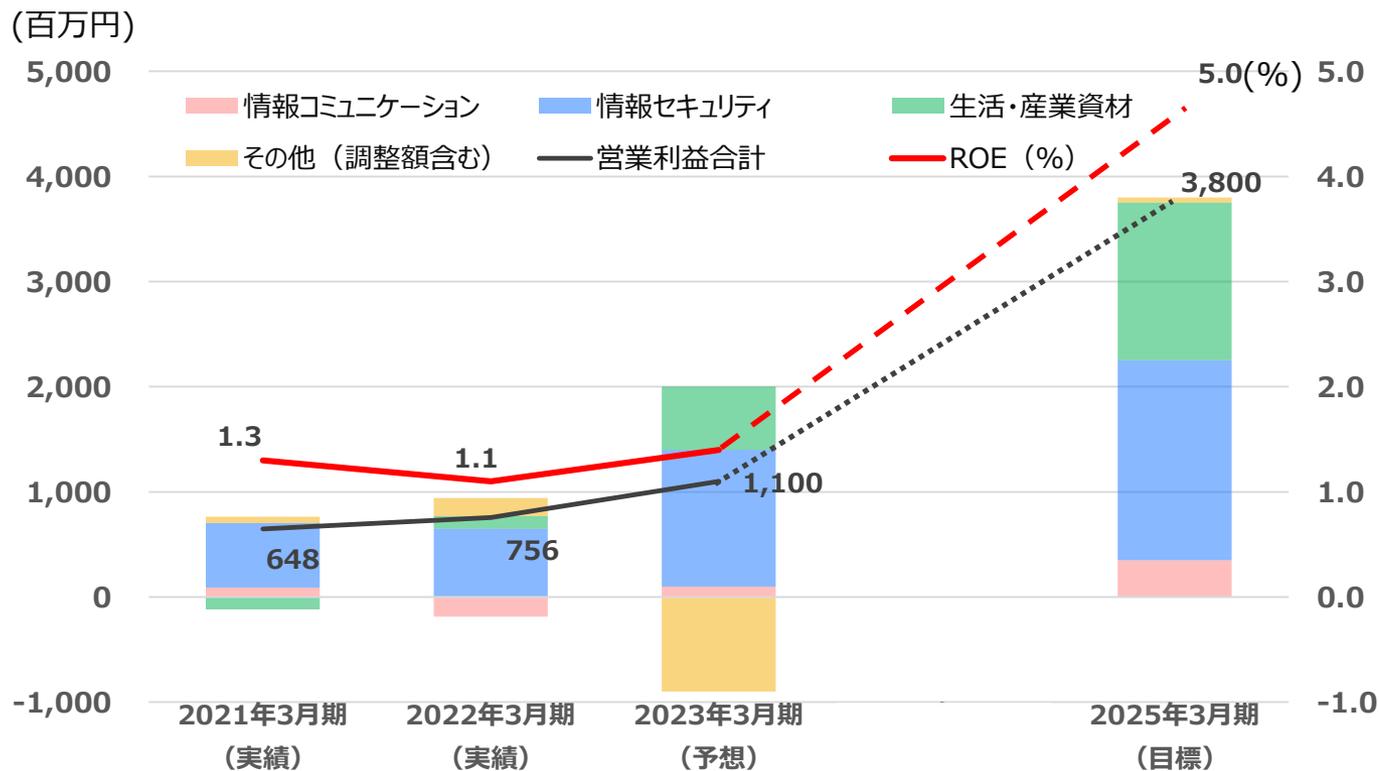
5年間の推移



・中期経営計画 K P I の目標および進捗状況は以下の通り。

5年間の推移

中期経営計画 K P I 推移



中期経営計画 2021年度実績

中期経営方針

豊かな社会と新たな価値を創造するために未来起点の変革に挑戦

重点テーマ

主要な成果

- ① 既存事業の事業基盤強化
- ② 新規事業領域の探索

- 事業戦略および生産改革の推進に向けた機構改革を実施し、各セグメントとのハブ機能を担う中枢組織と、各セグメントの推進役となる専門組織を設置・強化
- 全社事業戦略を推進する「戦略推進部」を新設し、新規事業開発およびマーケティング機能を強化
(2022年4月1日付 組織改編)

- ③ 環境戦略

- 環境長期ビジョンおよび環境マテリアリティ策定に向けた議論を深化
- 気候変動対応に向けてCO2サプライチェーン排出量を算定

- ④ 人材戦略

- 従業員に対する業績連動型株式給付制度「株式給付信託（J-ESOP）」を導入
- マネジメント研修の実施、評価フィードバック面談強化による社内コミュニケーション活性化
- 新社屋竣工に向け、新しい働き方を実現する各種制度・規則の見直しを実施

- ⑤ 経営管理機能の強化

- 目標ROE達成のための、事業セグメント別ROIC管理を導入し、投下資本回転率等の関連指標の実績把握および課題の抽出

- ・市場ニーズの変化にあわせた新規サービス等の拡充を目指す。
- ・交通系製品の需要回復を含め、情報セキュリティ部門を中心として増収増益を見込む。

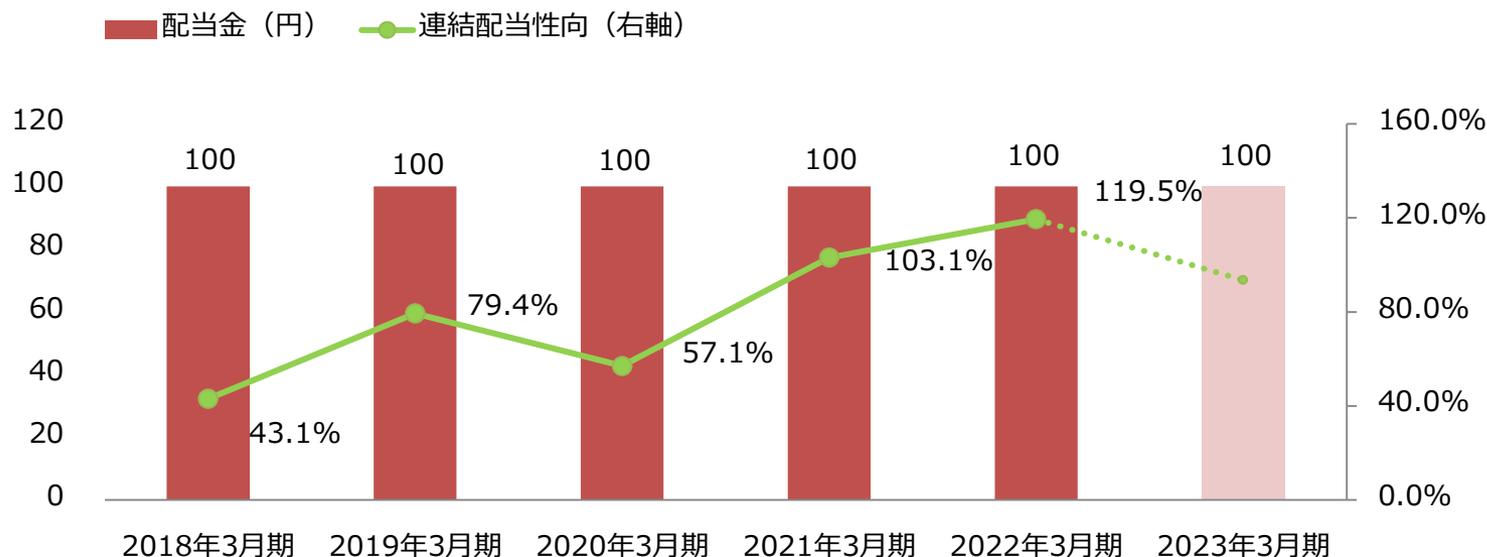
(単位：百万円)

		2022年3月期 実績	2023年3月期 予想
売上高		88,416	96,000
	情報コミュニケーション	33,427	35,000
	情報セキュリティ	25,187	28,000
	生活・産業資材	28,002	30,500
	その他	1,797	2,500
営業利益		756	1,100
	情報コミュニケーション	△186	100
	情報セキュリティ	648	1,300
	生活・産業資材	123	600
	その他（調整額含む）	171	△900
経常利益		1,298	1,600
親会社株主に帰属する当期純利益		683	850
年間配当金（1株あたり）		100	100

●2022年3月期および2023年3月期の配当について

- ・2022年3月期の配当は、1株あたり100円（中間50円、期末50円）の予定。
- ・2023年3月期の配当についても、下記方針に基づき1株につき100円の見通し。

※利益配分につきましては、株主の皆さまへの安定的・継続的な利益還元を重視しつつ、企業体質の強化に向けて必要な内部留保とあわせて総合的に判断しており、配当は、連結業績、配当性向のほか、株主資本配当率（D O E）の視点等も踏まえて決定します（中期経営計画においては、配当性向30%以上を目標）。



※ 2017年10月1日付で普通株式10株を1株に併合。

●自己株式の取得および消却について

- ・2021年11月8日開催の取締役会において決議しました自己株式の取得および消却については、以下のとおり終了いたしました。

1. 自己株式の取得

(1) 取得対象株式の種類	普通株式
(2) 取得した株式の総数	335,700株
(3) 株式の取得価額の総額	999,936千円
(4) 取得期間	2021年11月9日から2021年12月22日まで
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付け

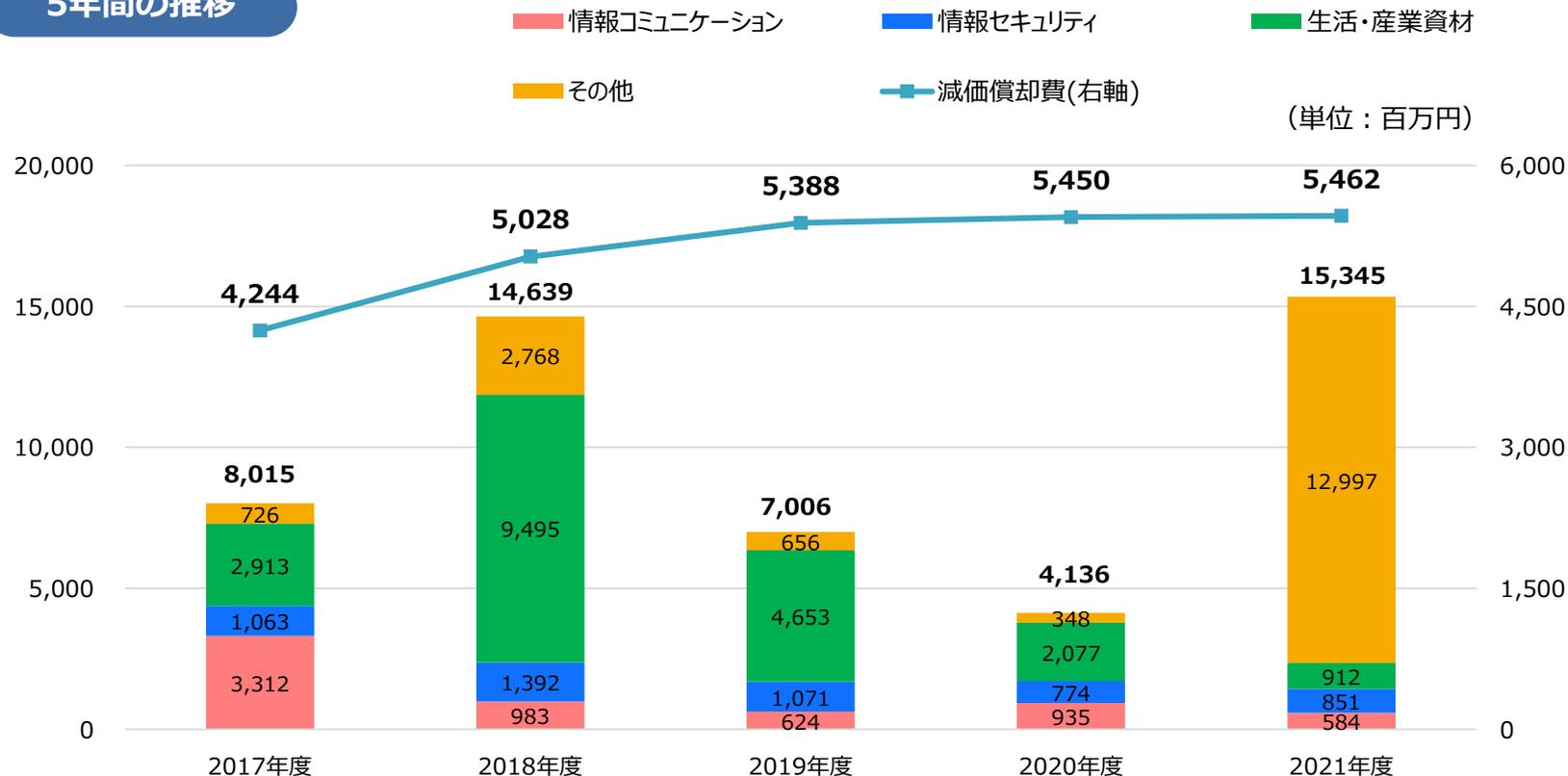
2. 消却に係る事項の内容

(1) 消却した株式の種類	普通株式
(2) 消却した株式の数	650,000株
(3) 消却後の発行済株式総数	8,370,000株
(4) 消却日	2021年11月30日

(参考) 設備投資・減価償却費

- ・ 本社新社屋は2022年3月完成（約120億円）
- ・ その他大型設備投資は前中期経営計画（2018～2020年度）で一巡

5年間の推移



※グラフの設備投資額は完成ベースです。

(参考) 貸借対照表

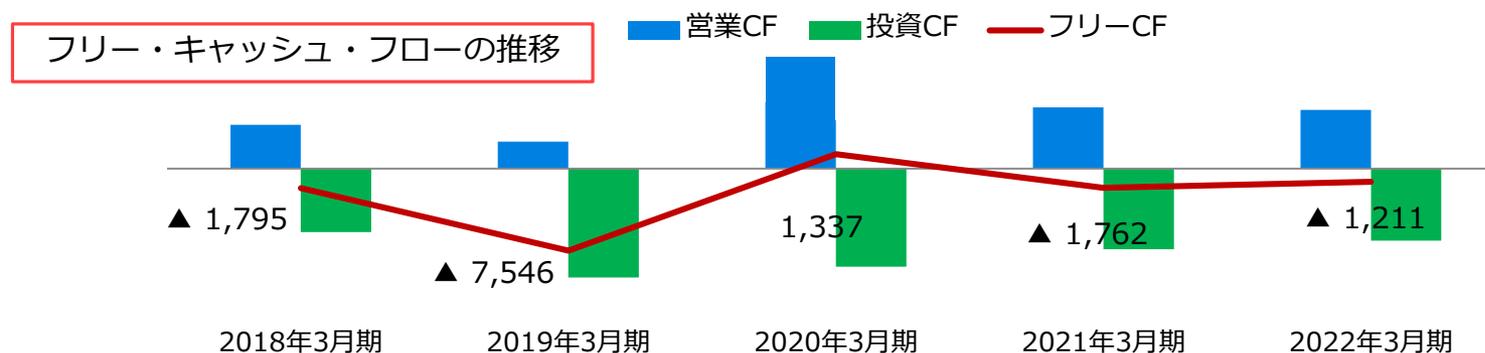
(単位：百万円)

	2021年3月期末	2022年3月期末	前期末差額
流動資産	46,453	44,025	△2,427
固定資産	82,624	85,095	+2,471
資産合計	129,077	129,121	+43
流動負債	33,501	44,531	+11,029
固定負債	32,631	23,312	△9,319
負債合計	66,133	67,843	1,709
純資産合計	62,944	61,277	△1,666
負債純資産合計	129,077	129,121	+43
自己資本比率	48.7%	47.4%	△1.3 p

(参考) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,639	5,421	△217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,402	△6,632	+769
フリーキャッシュ・フロー	△1,762	△1,211	+551
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,529	△2,618	△4,147
現金及び現金同等物の期首残高	13,070	12,760	△310
現金及び現金同等物の期末残高	12,760	8,890	△3,869



当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、
経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績予想などは、作成時点において当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績予想などとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- ・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・掲載内容については細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

【お問い合わせ先】

共同印刷株式会社 コーポレートコミュニケーション部

E-mail : koho@kyodoprinting.co.jp

HP : <https://www.kyodoprinting.co.jp/>